



Microsoft® Windows®版 SAS® 9.3 Foundation システム必要条件



著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

System Requirements for SAS® 9.3 Foundation for Microsoft® Windows®

Copyright © 2015, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

SAS Foundationに含まれるいくつかのソフトウェアでは、9.3以外のリリース番号が表示されることがあります。

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteの製品名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

システム必要条件について	1
その他の Windows OS のための資料	1
SAS テクニカルサポート	1
必要なソフトウェア	2
インストールの準備	2
ファイルシステム	2
管理者権限	2
アンチウイルスソフトウェアおよびファイアウォールソフトウェアを終了する	2
オペレーティングシステム	2
Microsoft Windows Server 2008 ファミリ	2
32-bit Microsoft Windows Server 2003 ファミリ	2
Microsoft Windows Server 2003 x64 ファミリ	3
クライアントオペレーティングシステム	3
ネットワークインストール	3
Windows 7 および、Windows 8 の SAS サポート	3
サポートしている Windows 実行環境	4
Java の必要条件	4
必要なハードウェア	5
Microsoft Windows 版 SAS 9.3 Foundation	5
サポートしている機種	5
メモリ容量	5
モニタ	5
追加機能	6
SAS 9.3 におけるユーザーのインストールの注意点	6
インターネットへのアクセス	6
Web ブラウザ	6
SAS Universal Viewer	6
動的データ交換 (DDE)	7
電子メール	7
Lotus Notes	7
System Requirement ウィザード	8
SAS Service Configuration ユーティリティ	9
SAS Deployment Wizard とサブセットオーダー	9
必要なディスク容量	10
インストールするプロダクトに必要なディスク容量	10
DBCS サポート	11

アジア言語サポート (ALS)	12
アジア言語の環境でない環境でアジア言語を使用する	14
ヨーロッパ言語サポート (ELS)	14
SAS/GRAPH マップデータセット	17
プロダクト要件	18
Base SAS	18
SAS Analytics Accelerator for Teradata	18
SAS High-Performance Forecasting 12.1	18
SAS Scoring Accelerator for DB2	18
SAS Scoring Accelerator for Greenplum	19
SAS Scoring Accelerator for Netezza	19
SAS Scoring Accelerator for Oracle	19
SAS Scoring Accelerator for Teradata	20
SAS/ACCESS Interface to Aster	20
SAS/ACCESS Interface to DB2	21
SAS/ACCESS Interface to Greenplum	21
SAS/ACCESS Interface to Hadoop	21
SAS/ACCESS Interface to HP Neoview	22
SAS/ACCESS Interface to MySQL	22
SAS/ACCESS Interface to Netezza	22
SAS/ACCESS Interface to ODBC	22
SAS/ACCESS Interface to OLE DB	23
SAS/ACCESS Interface to Oracle	23
SAS/ACCESS Interface to PC Files	23
SAS/ACCESS Interface to Sybase	24
SAS/ACCESS Interface to Sybase IQ	24
SAS/ACCESS Interface to Teradata	24
SAS/AF	25
SAS/CONNECT	25
SAS/EIS	25
SAS/Genetics 12.1	26
SAS/GIS	26
SAS/GRAPH	26
SAS/IntrNet	27
CGI ツールとアプリケーション	27
Java Tools とアプリケーション	27
SAS/LAB	28
SAS/OR 12.1	28
SAS/TOOLKIT	28
SAS/Warehouse Administrator	28

グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性 ----- 29

プリンタ ----- 29

他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス ----- 30

ActiveX と Java デバイスドライバによって作成された HTML ファイルの閲覧 ----- 30

システム必要条件について

このドキュメントには、Windows (32-bit) 版SAS 9.3 Foundationをインストールし、実行するためのシステム必要条件が記載されています。SAS 9.3を実行する前に、最低条件を満たすようにお使いのシステム環境を更新する必要があります。

このドキュメントに記されている主なシステム必要条件は、以下のとおりです。

- 必要なソフトウェア
- 必要なハードウェア
- 追加機能
- 必要なディスク容量
- プロダクト要件
- グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性

システム必要条件に関する最新情報やその他の追加情報を参照するには、SASインストールセンターを参照してください。

<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/service/documentation/installcenter>

その他の Windows OS のための資料

64-bit Windows版SAS 9.3 Foundationの情報は、『Microsoft Windows x64 Edition 版 SAS Foundationシステム必要条件』、をご確認ください。これらのドキュメントは、SASインストールセンターから入手できます。

<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/service/documentation/installcenter>

SAS テクニカルサポート

SASテクニカルサポートに関する情報は、下記のWebサイトを参照してください。

<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/service/index.html>

必要なソフトウェア

インストールの準備

ファイルシステム

8.3形式のファイル名の命名規則（8.3 filename convention）が利用できる必要があります。ロングファイル名をサポートするファイルシステムの使用を推奨します。

管理者権限

SAS 9.3をインストールするには、システム管理者権限が必要です。

アンチウイルスソフトウェアおよびファイアウォールソフトウェアを終了する

System Requirementウィザードを起動する前に、アンチウイルスソフトウェアおよびファイアウォールソフトウェアを終了させることをお勧めします。いくつかのアンチウイルスおよびファイアウォールソフトウェアは、SASをインストールする上で障害となります。

アンチウイルスおよびファイアウォールソフトウェアを終了できない場合、この構成でインストールするおよびレジストリを更新する権限があるかどうかを確認してください。アンチウイルスおよびファイアウォールを終了することが許可されず、かつSASのインストールが失敗する場合、システム管理者に問い合わせてください。

オペレーティングシステム

Microsoft Windows Server 2008 ファミリ

SAS 9.3 Foundationは、SAS 9.3 TS1M0以降で下記の32-bitおよびx64エディションのMicrosoft Windows Server 2008ファミリをサポートしています。

- Microsoft® Windows® Server 2008、Standard Edition
- Microsoft® Windows® Server 2008、Enterprise Edition
- Microsoft® Windows® Server 2008、Datacenter Edition

SAS 9.3 Foundationは、SAS 9.3 TS1M0以降で下記のx64版のMicrosoft Windows Server 2008 R2ファミリをサポートしています。

- Microsoft® Windows® Server 2008 R2、Standard Edition
- Microsoft® Windows® Server 2008 R2、Enterprise Edition
- Microsoft® Windows® Server 2008 R2、Datacenter Edition

32-bit Microsoft Windows Server 2003 ファミリ

注意： SASは、Microsoft Windows Server 2003サーバーを利用しているユーザーに対して、下記のURLから利用可能なMicrosoftソフトウェア更新プログラムをインストールすることを推奨しています。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=17c36612-632e-4c04-9382-987622ed1d64&displaylang=ja>

32-bit Microsoft Windows Server 2003ファミリのすべてのエディションをサポートしています。

- Microsoft® Windows® Server 2003、Standard Edition (Service Pack 1を適用)
- Microsoft® Windows® Server 2003、Enterprise Edition (Service Pack 1を適用)
- Microsoft® Windows® Server 2003、Datacenter Edition (Service Pack 1を適用)

Microsoft Windows Server 2003 x64 ファミリ

Microsoft Windows Server 2003 x64ファミリの次のエディションをサポートしています。

- Microsoft® Windows® Server 2003 for x64 systems、Standard Edition
- Microsoft® Windows® Server 2003 for x64 systems、Enterprise Edition
- Microsoft® Windows® Server 2003 for x64 systems、Datacenter Edition

クライアントオペレーティングシステム

Microsoft Windows XPおよびMicrosoft Windows Vistaの32-bit対応プロダクトをサポートしています。

- Microsoft® Windows® XP Professional (Service Pack 2を適用)
- Microsoft® Windows® Vista – Enterprise、Business、およびUltimate Edition

Microsoft Windows XPおよびMicrosoft Windows Vistaのx64対応プロダクトをサポートしています。

- Microsoft® Windows® XP Professional x64 systems
- Microsoft® Windows® Vista – Enterprise x64 Edition、Business x64 Edition、およびUltimate x64 Edition

ネットワークインストール

ロングファイル名のサポートは、サーバーインストールを実行するすべてのNovellサーバーで必要です。

Windows 7 および、Windows 8 の SAS サポート

Windows 7 SP1 Professional、Ultimate および、Enterprise : SAS 9.3 Foundation プロダクトでサポートされています。

Windows 8 Pro および、Enterprise : SAS 9.3 Foundation プロダクトでサポートされています。

Windows 7 Home Premium および、Windows 8 :

Education Analytical Suite (EAS) でのサポート。Windows 7および、Windows 8 上でサポートされるEducation Analytical Suiteのプロダクトには、次のようなものがあります。

注意: これらのプロダクトは、単体ではWindows 7 Home Premium、および、Windows 8 でサポートされません。

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Greenplum
- SAS/ACCESS Interface to Informix
- SAS/ACCESS Interface to MySQL
- SAS/ACCESS Interface to MS SQL Server
- SAS/ACCESS Interface to ODBC

- SAS/ACCESS Interface to PC Files
- SAS/ACCESS Interface to Sybase
- SAS/AF
- SAS/ASSIST
- SAS/CONNECT
- SAS/EIS
- SAS/ETS
- SAS/FSP
- SAS/GRAPH
- SAS/IML
- SAS/OR
- SAS/QC
- SAS/SECURE
- SAS/SHARE
- SAS/STAT

サポートしている Windows 実行環境

SAS 9.3でサポートしているMicrosoft Windows実行環境に関する詳細は、SASのサポート対象オペレーティングシステムのWebサイトをご確認ください。

<http://www.sas.com/japan/service/resources/sysreq/hosts/pc/>

Java の必要条件

Java Runtime Environment (JRE) の必要条件については、下記、「SAS 9.3 (TS1M0) でサポートするJava Runtime Environment」のWebサイトを参照してください。

<http://www.sas.com/japan/service/resources/thirdpartysupport/v93/jres.html>

必要なハードウェア

Microsoft Windows 版 SAS 9.3 Foundation

Microsoft Windows版SAS 9.3 Foundationのインストールにおけるハードウェアの必要条件是、次のとおりです。

サポートしている機種

IntelまたはIntel互換プロセッサを搭載したマシン（最低：Pentium 4 以上）

メモリ容量

Windows XP Professional

- 最低512MB。より快適な動作にはそれ以上。
- 最低512MBのスワップファイル領域

サポートしているエディションのWindows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista およびWindows 7

- 最低1GB。より快適な動作にはそれ以上。
- 最低1GBのスワップファイル領域

モニタ

SVGA（解像度：800x600以上）

追加機能

SAS 9.3 におけるユーザーのインストールの注意点

SAS 9.3 Foundationへアップグレードする場合、これらの機能のいくつかは以前のSASでは利用できなかった新しい機能であることに注意してください。

インターネットへのアクセス

SAS 9.3 Foundationのインストール関連のドキュメントの最新版は、インターネット経由でSASインストールセンターからダウンロードできます。また、SASテクニカルサポート関連の情報もインターネット経由で参照できます。

Web ブラウザ

SAS 9.3 Foundationは、以下の2つの機能でWebブラウザを使用します。サポートしているWebブラウザは、Internet Explorer バージョン 6 (Service Pack 2) 以降です。

1. 出力結果を、SAS 9.3 のOutput Delivery System (ODS) 機能を使用してHTML形式で表示することができます。基本的にはどのWebブラウザでも表示できますが、Internet Explorer バージョン 6 SP2以降を使用するとSAS 9.3 FoundationのウィンドウにODS出力を表示できます。他のWebブラウザを使用したときは別ウィンドウに表示されます。
2. SASヘルプやドキュメントはMicrosoft HTMLヘルプビューアがサポートするHTML形式でコンパイルされ、Windowsアプリケーションと同様のレイアウトで表示されます。これは非常にコンパクトな形式であり、拡張された検索機能を持っています。Internet Explorer バージョン 6 SP2以降をインストールすると、最高レベルの機能が提供されます。

注意： SAS 9.3 Foundationでこれらの機能を利用するには、Internet Explorer バージョン 6 (Service Pack 2) 以降が必要です。これにより、ユーザーインターフェイスの機能が最大限に生かされます。

SAS Universal Viewer

SAS Universal Viewerは、Windowsオペレーティングシステムのためのアプリケーションです。SASを起動したり、インストールしたりすることなくSASデータセットやその他のファイルを参照することを可能にします。SAS Universal Viewerは、Windowsオペレーティングシステムのためのアプリケーションです。SASを起動したり、インストールしたりすることなくSASデータセットやその他のファイルを参照することを可能にします。このプロダクトを利用することで、データセットの参照、並び替え、フィルタリングを実行できますが、データセットの編集をすることはできません。

SAS Universal Viewerで参照できるのは、次の種類のファイルです。

- SASデータセット (Windows以外のプラットフォーム上で作成されたものを含む)
- SAS v5移送ファイル
- SASプログラム、ログ、出力リスト
- 一般的なテキストファイル
- HTMLおよびInternet Explorerで開くことができるその他の形式のファイル

動的データ交換 (DDE)

動的データ交換 (Dynamic Data Exchange : DDE) により、他のDDE機能をサポートしているアプリケーションとSAS 9.3 Foundationの間でデータが交換できます。SAS 9.3 Foundationは、クライアントとしてだけ機能します。

電子メール

メニューのアイテムとして、[ファイル] - [メールの送信] があります。[メールの送信] を選択することにより、SAS 9.3 Foundationから電子メールを送信できます。また、DATAステップのファイルアクセス方式や、SAS/AFのSCLを使用して送ることもできます。

MAPIおよびVIMのメールAPIをサポートしています。これらは、Microsoft Outlook、Microsoft Outlook Express、Lotus Notes 4.0以降 (32-bit版のみ) などのサードパーティ製品のインストールが必要になります。MAPI経由でSMTPサーバーにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

Lotus Notes

Lotus Notesアクセス方式であるNOTESDBを使用すると、SAS 9.3 FoundationからLotus Notesに新しいドキュメントを直接生成することができます。NotesSQL ODBCドライバを使用するとSAS 9.3からLotus Notesドキュメントにアクセスできます。この機能を利用するには、Lotus Notes Desktopのライセンスがインストールされている必要があります。SAS 9.3 Foundationでは、32-bit版のLotus Notes 4.0以降をサポートしています。

System Requirement ウィザード

System Requirementウィザードは、SAS 9.3をインストールする前にそのコンピュータがシステムの最低必要条件を満たしているかどうかを確認します。必要なディスク容量はサードパーティ提供のコンポーネントや更新に必要なファイルによって異なります。System Requirementウィザードは、システム必要条件を満たしていないコンポーネントがあれば更新する前に知らせます。

次の表は、System Requirementウィザードで更新されるコンポーネントをWindowsのバージョンごとに表示しています。

- ここで使われるファミリという表現は、オペレーティングシステムのWorkstation、Professional、およびServer Editionを意味します。
- セルに×と表示されているものは、そのカラムのオペレーティングシステムに必要な更新がすでに含まれていることを示します。左側に一覧表示されている更新アイテムは、System Requirementウィザードでは、インストールされません。

コンポーネント名	Windows XP Professional*	Windows Server 2003*	Windows Vista および Windows Server 2008	Windows 7 および Windows Server 2008 R2
Microsoft Custom Controls Library 5.80.2614.3600	×	×	×	×
Microsoft Data Access Components (MDAC) 2.7	×	×	×	×
Microsoft HTML Help Control 4.74.8875	×	×	×	×
Microsoft Jet 4.0 Components (Service Pack 6)	○**	×	○**** **	○***
SAS JRE 1.5.0_12*** ****	○	○	○	*****
Microsoft Shell Folder Service 5.50.4027.300	×	×	×	×
Visual C++ 6.0 Redistributables Bundle	×	×	×	×
Visual C++ 7.0 Redistributables Bundle	○	○	○	○
Visual C++ 2005 Redistributable Package (x86)	○	○	○	○

* このカラムはx64 Editionも参照します。

** x64オペレーティングシステムでは、すでにこのコンポーネントのより新しいバージョンが含まれています。

*** Windows VistaおよびWindows 7オペレーティングシステムでは、すでにこのコンポーネントのより新しいバージョンが含まれています

**** すべてのSAS Foundationプロダクトが、同じJava実行環境を使用するのに必要です。System Requirementウィザードは、Java 5 Update 12をインストールします。

***** JRE 1.5.0_12は、Windows 7 およびWindows Server 2008 R2ではサポートされていません。次のSAS Notesを参照してください。

「SAS Note: Java 6 Update 14 or later is required when you install SAS 9.3 in the Microsoft Windows 7 or Microsoft Server 2008 R2 operating environments」

<http://support.sas.com/kb/40/501.html>

SAS Service Configuration ユーティリティ

SAS管理者は、特定のコンピュータ上でサービスとして実行されているSAS 9.3 Foundationの機能をSAS Service Configurationユーティリティを使用してカスタマイズすることができます。SAS Service Configurationユーティリティを使用するには、0.5MBのディスク容量が必要です。SAS Service Configurationユーティリティを使用するには、[スタート] – [プログラム] – [SAS] – [SAS 9.3 Utilities] – [SAS Service Configurationユーティリティ] を選択します。

SAS Deployment Wizard とサブセットオーダー

SAS Deployment Wizardでは、デポを移動またはコピーする際にユーザーがオーダーをサブセットすることができます。SASの以前のリリースのSAS Administrator Wizardで提供されていたクライアントソフトウェアデポまたは、パーソナルソフトウェアデポの作成プロセスがこのオーダーのサブセットに置き換えられました。これらのいずれかを使用していた場合は、『SAS Deployment Wizardユーザーガイド』にある、特定のプロダクトを別のデポにコピーする際の選択方法を参照してください。この手順で作成された新しいデポは、以前のリリースで作成されたデポと同等の機能を有します。

必要なディスク容量

同梱のメディアには、SASプロダクトがすべて含まれています。ライセンスを取得しているプロダクトが、SASインストールデータによってカスタマイズされてインストールされます。

次の表には、Windows版SAS 9.3 Foundationで使用できるすべてのプロダクトの必要なディスク容量が示されています。必要なディスク容量が1 MB以下のプロダクトには、アスタリスク (*) を表示しています。SAS 9.3ソフトウェアのインストールに必要なディスク容量はこの表で確認できます。必要なディスク容量は、インストールディスクドライブのブロック化係数や圧縮方法によって異なります。下記のプロダクトの必要なディスク容量は、HTML Helpシステムを使用する場合を想定しています。また、これらの数値はすべて参考値であることに注意してください。

インストールするプロダクトで必要なディスク容量

プロダクト名	必要なディスク容量 (MB)
Base SAS	601
SAS High-Performance Forecasting 12.1	6
SAS/ACCESS Interface to ODBC	1
SAS/ACCESS Interface to DB2	*
SAS/ACCESS Interface to Greenplum	7
SAS/ACCESS Interface to HP Neoview	1
SAS/ACCESS Interface to MySQL	*
SAS/ACCESS Interface to Netezza	*
SAS/ACCESS Interface to ODBC	1
SAS/ACCESS Interface to OLE DB	*
SAS/ACCESS Interface to Oracle	1
SAS/ACCESS Interface to PC Files	8
SAS/ACCESS Interface to Sybase	1
SAS/ACCESS Interface to Sybase IQ	*
SAS/ACCESS Interface to Teradata	1
SAS/AF	6
SAS/CONNECT	3
SAS/EIS	50
SAS/ETS 12.1	30
SAS/FSP	2
SAS Genetics 12.1	3
SAS/GIS	49
SAS/GRAPH	390**
SAS/IML 12.1	6
SAS/IntrNet	4
SAS/LAB	8
SAS/OR 12.1	13
SAS/QC 12.1	21
SAS/STAT 12.1	70
SAS/TOOLKIT	9
SAS/Warehouse Administrator	33

* 実際のディスク容量は、0.1MB単位で四捨五入されています。そのため、値はインストーラによって示されるものとわずかに異なります。

** 2011年12月のSAS 9.3の初期メンテナンスリリースから、SAS/GRAPHIにはGfK GeoMarketing社提供の新しいマップデータセットが含まれます。これにより、SAS/GRAPHIは上記リストにある必要なディスク容量の合計に加えて、1.3 GBのディスク容量が必要です。

Base SAS Shared Components と SAS/GRAPH Shared Components は、Windows 版 SAS 9.3 Foundationにだけ付属しています。これらのコンポーネントは、SAS Enterprise Guideを同じマシンにインストールする場合に共有して使用するためのものです。共有コンポーネントの初期インストールの際、インストールの場所を選択することができます。その場所は、すべての後続の共有コンポーネントのインストールで変わりません。標準では、C:\Program Files\SAS\Shared Filesとなります。

インストールの際に使用するインストーラ関連およびドキュメント	必要なディスク容量 (MB)
インストール関連のドキュメント (英語版)	13.0
SASセットアップファイル	4.5
SAS Deployment Manager	160.0
System Requirementウィザード	340.0

DBCS サポート

次の表には、DBCSサポートを提供するSASコンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

プロダクト名 (DBCSサポート)	必要なディスク容量 (MB) *
SAS 9.3 Core DBCSサポートファイル	13.3
SAS/ACCESS Interface to DB2 DBCSサポートファイル	0.4
SAS/ACCESS Interface to ODBC DBCSサポートファイル	0.4
SAS/ACCESS Interface to Oracle DBCSサポートファイル	0.2
SAS/ACCESS Interface to PC Files DBCSサポートファイル	0.8
SAS/ACCESS Interface to SYBASE DBCSサポートファイル	0.3
SAS/AF DBCSサポートファイル	0.2
SAS/CONNECT DBCSサポートファイル	0.6
SAS/EIS DBCSサポートファイル	0.2
SAS/FSP DBCSサポートファイル	0.3
SAS/GRAPH DBCSサポートファイル	2.3
SAS/INSIGHT DBCSサポートファイル	2.5
SAS/LAB DBCSサポートファイル	0.8
SAS/QC DBCSサポートファイル	0.4
SAS/SHARE DBCSサポートファイル	0.1
SAS/STAT DBCSサポートファイル	0.7
合計	23.5

アジア言語サポート (ALS)

次の表には、アジア言語のサポートを提供するSAS 9.3コンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

サポート言語	必要なディスク容量 (MB) *	該当する表
中国語 (繁体字)	54.0	12ページ
中国語 (簡体字)	186.0	12ページ
日本語	274.0	12ページ
韓国語	186.0	13ページ

繁体字中国語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS繁体字中国語サポートファイル	3.1
SAS/GRAPH繁体字中国語サポートファイル	72.6
合計	75.7

簡体字中国語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS簡体字中国語サポートファイル	49.6
SAS Data Quality Server簡体字中国語サポートファイル	0.3
SAS Integration Technologies簡体字中国語サポートファイル	0.2
SAS/ACCESS Interface to DB2簡体字中国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to ODBC Server簡体字中国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to OLE DB簡体字中国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to Oracle簡体字中国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to PC Files簡体字中国語サポートファイル	0.8
SAS/ACCESS Interface to Sybase簡体字中国語サポートファイル	0.1
SAS/AF簡体字中国語サポートファイル	2.0
SAS/CONNECT簡体字中国語サポートファイル	0.9
SAS/EIS簡体字中国語サポートファイル	1.9
SAS/ETS簡体字中国語サポートファイル	20.9
SAS/GIS簡体字中国語サポートファイル	1.8
SAS/GRAPH簡体字中国語サポートファイル	8.2
SAS/IML簡体字中国語サポートファイル	2.8
SAS/INSIGHT簡体字中国語サポートファイル	14.7
SAS/IntrNet簡体字中国語サポートファイル	2.1
SAS/LAB簡体字中国語サポートファイル	0.6
SAS/OR簡体字中国語サポートファイル	8.0
SAS/QC簡体字中国語サポートファイル	10.1
SAS/SHARE簡体字中国語サポートファイル	0.8
SAS/STAT簡体字中国語サポートファイル	20.0
SAS/TOOLKIT簡体字中国語サポートファイル	0.1
合計	146.3

日本語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS日本語サポートファイル	79.9
SAS Data Quality Server日本語サポートファイル	0.3
SAS Integration Technologies日本語サポートファイル	0.2
SAS/AF日本語サポートファイル	2.0
SAS/ACCESS Interface to DB2日本語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to ODBC Server日本語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to OLE DB日本語サポートファイル	1.0

日本語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
SAS/ACCESS Interface to Oracle日本語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to PC Files日本語サポートファイル	0.8
SAS/ACCESS Interface to Sybase日本語サポートファイル	0.1
SAS/CONNECT日本語サポートファイル	0.9
SAS/EIS日本語サポートファイル	10.1
SAS/ETS日本語サポートファイル	20.6
SAS/GIS日本語サポートファイル	1.8
SAS/GRAPH日本語サポートファイル	11.0
SAS/GRAPH地図データセット日本語サポートファイル	2.1
SAS/IML日本語サポートファイル	2.8
SAS/INSIGHT日本語サポートファイル	14.7
SAS/IntrNet日本語サポートファイル	2.1
SAS/LAB日本語サポートファイル	0.4
SAS/OR日本語サポートファイル	7.9
SAS/QC日本語サポートファイル	9.0
SAS/SHARE日本語サポートファイル	0.8
SAS/STAT日本語サポートファイル	19.9
SAS/TOOLKIT日本語サポートファイル	0.1
合計	188.8

韓国語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SAS韓国語サポートファイル	49.6
SAS Data Quality Server韓国語サポートファイル	0.3
SAS Integration Technologies韓国語サポートファイル	0.2
SAS/ACCESS Interface to DB2韓国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to ODBC Server韓国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to OLE DB韓国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to Oracle韓国語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to PC Files韓国語サポートファイル	0.8
SAS/ACCESS Interface to Sybase韓国語サポートファイル	0.1
SAS/AF韓国語サポートファイル	2.0
SAS/CONNECT韓国語サポートファイル	0.9
SAS/EIS韓国語サポートファイル	1.9
SAS/ETS韓国語サポートファイル	20.9
SAS/GIS韓国語サポートファイル	1.8
SAS/GRAPH韓国語サポートファイル	8.3
SAS/IML韓国語サポートファイル	2.8
SAS/INSIGHT韓国語サポートファイル	14.7
SAS/IntrNet韓国語サポートファイル	1.9
SAS/LAB韓国語サポートファイル	0.6
SAS/OR韓国語サポートファイル	8.0
SAS/QC韓国語サポートファイル	10.3
SAS/SHARE韓国語サポートファイル	0.8
SAS/STAT韓国語サポートファイル	20.0
SAS/TOOLKIT韓国語サポートファイル	0.1
合計	146.4

アジア言語サポートの表における注意点

- * 実際のディスク容量は、0.1MB単位で四捨五入されています。そのため、値はインストーラによって示されるものとわずかに異なります。

- ** 韓国語および簡体字中国語のサポートにおいて、インストーラはSAS OLAP Serverをsampleとして不正確に表示します。サブコンポーネントは不正確に表示されますが、選択した場合、SASのOLAP Serverの韓国語および簡体字中国語サポートは正しくインストールされます。

アジア言語の環境でない環境でアジア言語を使用する

使用しているMicrosoft Windowsのバージョンによっては、英語版Windows環境でアジア言語を表示する場合、問題が発生する可能性があります。

ヨーロッパ言語サポート (ELS)

次の表には、いくつかのヨーロッパ言語のサポートを提供するSASコンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

ヨーロッパ言語サポート (ELS)	必要なディスク容量 (MB) *	該当する表
チェコ語	6.8	下記下の
フランス語	35.2	下記
ドイツ語	196.4	14
ハンガリー語	6.8	15
イタリア語	203.9	15
ポーランド語	27.4	16
ロシア語	15.1	17
スペイン語	21.4	17
スウェーデン語	6.9	17

* 実際のディスク容量は、0.1MB単位で四捨五入されています。そのため、値はインストーラによって示されるものとわずかに異なります。

チェコ語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASチェコ語サポートファイル	4.5
SAS/ETSチェコ語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHチェコ語サポートファイル	0.2
SAS/ORチェコ語サポートファイル	0.5
SAS/QCチェコ語サポートファイル	0.2
SAS/STATチェコ語サポートファイル	0.8
合計	6.9

フランス語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASフランス語サポートファイル	24.1
SAS Data Quality Server	0.1
SAS/EISフランス語サポートファイル	8.6
SAS/ETSフランス語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHフランス語サポートファイル	0.3
SAS/ORフランス語サポートファイル	0.5
SAS/QCフランス語サポートファイル	0.2
SAS/STATフランス語サポートファイル	0.8
合計	35.3

ドイツ語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SASドイツ語サポートファイル	53.7
SAS/ACCESS Interface to DB2ドイツ語サポートファイル	0.3

ドイツ語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
SAS/ACCESS Interface to ODBC Serverドイツ語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to OLE DBドイツ語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to Oracleドイツ語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to PC Filesドイツ語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to Sybaseドイツ語サポートファイル	0.8
SAS/ACCESS Interface to Teradatatドイツ語サポートファイル	0.1
SAS/AFドイツ語サポートファイル	1.9
SAS/CONNECTドイツ語サポートファイル	0.9
SAS/EISドイツ語サポートファイル	1.7
SAS/ETSドイツ語サポートファイル	21.3
SAS/GISドイツ語サポートファイル	1.8
SAS/GRAPHドイツ語サポートファイル	8.3
SAS/IMLドイツ語サポートファイル	2.8
SAS/INSIGHTドイツ語サポートファイル	14.5
SAS/IntrNetドイツ語サポートファイル	1.9
SAS/LABドイツ語サポートファイル	0.4
SAS/ORドイツ語サポートファイル	8.4
SAS/QCドイツ語サポートファイル	10.1
SAS/SHAREドイツ語サポートファイル	0.8
SAS/STATドイツ語サポートファイル	20.7
SAS/TOOLKITドイツ語サポートファイル	0.1
合計	150.9

ハンガリー語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASハンガリー語サポートファイル	4.5
SAS/ETSハンガリー語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHハンガリー語サポートファイル	0.2
SAS/ORハンガリー語サポートファイル	0.5
SAS/QCハンガリー語サポートファイル	0.2
SAS/STATハンガリー語サポートファイル	0.8
合計	6.9

イタリア語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
Base SASイタリア語サポートファイル	61.5
SAS Data Quality Serverイタリア語サポートファイル	0.3
SAS Integration Technologiesイタリア語サポートファイル	0.2
SAS/ACCESS Interface to DB2イタリア語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to ODBC Serverイタリア語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to OLE DBイタリア語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to Oracleイタリア語サポートファイル	0.1
SAS/ACCESS Interface to PC Filesイタリア語サポートファイル	0.8
SAS/ACCESS Interface to Sybaseイタリア語サポートファイル	0.1
SAS/AFイタリア語サポートファイル	1.9
SAS/CONNECTイタリア語サポートファイル	0.9
SAS/EISイタリア語サポートファイル	1.7
SAS/ETSイタリア語サポートファイル	21.3
SAS/GISイタリア語サポートファイル	1.8
SAS/GRAPHイタリア語サポートファイル	8.2
SAS/IMLイタリア語サポートファイル	2.8
SAS/INSIGHTイタリア語サポートファイル	14.5
SAS/IntrNetイタリア語サポートファイル	1.9
SAS/LABイタリア語サポートファイル	0.4
SAS/ORイタリア語サポートファイル	8.4

イタリア語サポート	必要なディスク容量 (MB) *
SAS/QCイタリア語サポートファイル	10.1
SAS/SHAREイタリア語サポートファイル	0.8
SAS/STATイタリア語サポートファイル	20.7
SAS/STOOLKITイタリア語サポートファイル	0.1
合計	158.8

ポーランド語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASポーランド語サポートファイル	24.7
SAS Data Quality Server	0.1
SAS/ETSポーランド語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHポーランド語サポートファイル	0.5
SAS/ORポーランド語サポートファイル	0.5
SAS/QCポーランド語サポートファイル	0.2
SAS/STATポーランド語サポートファイル	0.8
合計	27.5

ロシア語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASロシア語サポートファイル	6.2
SAS/EISロシア語サポートファイル	6.4
SAS/ETSロシア語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHロシア語サポートファイル	0.4
SAS/ORロシア語サポートファイル	0.5
SAS/QCロシア語サポートファイル	0.2
SAS/STATロシア語サポートファイル	0.8
合計	15.2

スペイン語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASスペイン語サポートファイル	18.9
SAS Data Quality Server	0.1
SAS/ETSスペイン語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHスペイン語サポートファイル	0.4
SAS/ORスペイン語サポートファイル	0.5
SAS/QCスペイン語サポートファイル	0.2
SAS/STATスペイン語サポートファイル	0.8
合計	21.6

スウェーデン語サポート	必要なディスク容量 (MB)
Base SASスウェーデン語サポートファイル	4.5
SAS/ETSスウェーデン語サポートファイル	0.7
SAS/GRAPHスウェーデン語サポートファイル	0.2
SAS/ORスウェーデン語サポートファイル	0.5
SAS/QCスウェーデン語サポートファイル	0.2
SAS/STATスウェーデン語サポートファイル	0.8
合計	6.9

SAS/GRAPH マップデータセット

データセット	必要なディスク容量
アフリカおよび中近東諸国	7.2
アジア太平洋諸国の地図	22.0
ヨーロッパ諸国	16.2
アメリカ合衆国	5.5
中南米およびカリブ海諸国	7.0
カナダ	1.9
ヨーロッパ大陸	25.7
世界地図	25.7
アメリカ郡別特大地図 (非投影)	12.5
アメリカ郡別大型地図 (非投影、縮小)	1.5
アメリカ本土郡別大型地図 (投影法使用、縮小)	1.5
アメリカ州別大型白地図 (非投影)	1.5
全地域の合計	128.2

プロダクト要件

Base SAS

Microsoft Windows における SPD エンジンの必要条件

SPDEは、5ページの「必要なハードウェア」で指定されている最小限のシステムで実行することができますが、SPDE機能を利用するために推奨されている最小限のシステムガイドラインがあります：

- 少なくとも2つのCPU（4つのCPUが望ましい）を持つSMP（Symmetric Multiple Processor：対照型マルチプロセッサ）コンピュータ
- 2つのCPUごとに、少なくとも1つのI/Oチャンネル
- CPUごとに少なくとも1つの専用のマウントポイントを持つディスクドライブ。CPUごとに2つのマウントポイントを推奨

Base SASでODS Graphicsを使用するには、SAS/GRAPHのライセンスが必要です。

SAS Analytics Accelerator for Teradata

SAS Analytics Accelerator for Teradataをインストールするには、Base SAS、SAS/ACCESS Interface to Teradataおよび、下記の中から少なくとも一つのプロダクトが必須です。

- SAS/ETS
- SAS/STAT
- SAS Enterprise Miner

必要な In-Database DBMS プロダクト

SAS Analytics Accelerator 2.1 for Teradataのすべてのin-database機能は、Teradata 13.00.00.15以上が必須です。

SAS Analytics Accelerator for Teradataは、Teradata Tools and Utilities（TTU）13（パッチ1.9以降を適用したもの）が必要です。

SAS High-Performance Forecasting 12.1

SAS High-Performance Forecastingのインストールには、Base SASが必須です。

SAS Scoring Accelerator for DB2

SAS Scoring Accelerator for DB2は、Base SAS、SAS/STAT、およびSAS/ACCESS Interface to DB2および、SAS Enterprise Minerが必須です。

In-Database DBMS プロダクト（Function ベースのアーキテクチャ）

- IBM DB2 9.5 FixPack3：AIX 5.3または、IBM DB2 9.5 FixPack3：x64 Linux：RHEL 4
- IBM DB2 9.5クライアントユーティリティ（Client utilities for IBM DB2 9.5）

スコアをパブリッシュするDB2サーバーに現行版のIBM XLCコンパイラのインストールが必要です。IBM/DB2の担当者に連絡し、使用しているDB2インストールに対応したコンパイラを確保してください。

In-Database DBMS プロダクト (SAS 組み込みプロセススペースのアーキテクチャ)

- IBM DB2 9.7 FixPack 5以上
- IBM DB2 9.7以上のクライアントユーティリティ

下記は、このデータベースで必要なOSのバージョンです。

AIX :

- AIX 5.3 + TL09
- AIX 6.1 + TL02以上
- AIX 7.1 GA+ SP3

Linux :

- SLES 10 + SP2
- SLES 11

SAS Scoring Accelerator for Greenplum

SAS Scoring Accelerator for Greenplumは、Base SAS、SAS/STAT、SAS/ACCESS Interface to Greenplumおよび、SAS Enterprise Minerが必須です。

最小限必要なGreenplumデータベースの必要条件は、次の通りです。

- GPDB 4.2.2.0
- GPPC 1.1.0.0

下記は、このデータベースで必要なLinuxオペレーティングシステムのバージョンです。

- Red Hat Enterprise Linux 64-bit : 5.5、5.6、5.7、6.1、および6.2
- SUSE Linux Enterprise Server 64-bit : 10 SP4、および11 SP1

SAS Scoring Accelerator for Netezza

SAS Scoring Accelerator for Netezzaは、Base SAS、SAS/STAT、およびSAS/ACCESS Interface to Netezzaが必須です。また、SAS Enterprise Minerも必要です。

必要な In-Database DBMS プロダクト

- Netezza Performance Data Server 5.0
- Netezza 5.0のクライアントユーティリティ

SAS Scoring Accelerator for Oracle

SAS Scoring Accelerator for Oracleは、Base SAS、SAS/STAT、およびSAS/ACCESS Interface to Oracleおよび、SAS Enterprise Minerが必須です。

In-Database DBMS プロダクト (SAS 組み込みプロセススペースのアーキテクチャ)

- 最低限必要なOracle Serverのバージョンは、11gr2です。
- 最低限必要なOracle Clientのリリースは、リリース10gです。

下記は、このデータベースで必要なLinuxオペレーティングシステムのバージョンです。

- RHEL 5.5
- OEL 5.5

加えて、サーバーには、次の Oracle のバグに対応したパッチをインストールする必要があります。

- Bug 11678127 - OCIDESCRIBEANY RETURNS ORA:24323 FOR AN OBJECT TYPE USE CASE
- Bug 12536287 - ODCITABLECLOSE NOT INVOKED FOR PARALLEL ENABLED TABLE FUNCTIONS
- Bug 13533487 - ODCITABLECLOSE NOT INVOKED WHEN CTRL-C IS INVOKED BY QC IN TABLE FUNCTIONS
- Bug 12974145 - UNSET LENGTH OFFSET FIELD IN PEFMARG CAUSES CRASH IN SPEFM_FIXUP_LIST
- Bug 11772740 - CALLING OCIRESET() TO ABORT A PIECEWISE CYCLE SEVERS THE ORACLE CON

このドキュメントを製作した時点では、次の Oracle のバグに対応したパッチはまだ利用可能ではありませんでした。

- Bug 12658656 - DUPLICATE SYMBOLS in EXTPROC/AGENT
- Bug 12904682 - CORE DUMP IN MUTEX ACQUIRE WHEN DIAG INITIALIZATION FAILS
- Bug 12904657 - ADR INITIALIZATION FAILS IN SOME EXTPROC THREADS

これら3つのバグに対応したすべてのパッチが利用可能になるまでは、`$ORACLE_HOME/network/admin/sqlnet.ora` に次のコマンドを必ず追加してください。なお、再起動は必要ありません。

```
DIAG_ADR_ENABLED=OFF
```

SAS Scoring Accelerator for Teradata

SAS Scoring Accelerator for Teradata は、Base SAS、SAS/STAT、SAS/ACCESS Interface to Teradata および、SAS Enterprise Miner が必須です。モデルをデータベースにパブリッシュするには、SAS Code Interface または、SAS Model Manager も必要です。

必要な In-Database DBMS プロダクト (Function ベースのアーキテクチャ)

- Teradata 12.0 以上
- Teradata 12 以上のクライアントユーティリティ

必要な In-Database DBMS プロダクト (SAS 組み込みプロセスベースのアーキテクチャ)

- Teradata 13.10.02.01 以上
- Teradata 13 以上のクライアントユーティリティ

SAS/ACCESS Interface to Aster

SAS/ACCESS Interface to Aster nCluster のインストールには、Base SAS が必要です。

含まれる SAS プロダクト (SAS/ACCESS Interface to Aster)

- SAS/ACCESS Interface to Aster nCluster

SAS/ACCESS Interface to Aster nCluster は、バージョン 4.5.1 以降の Aster nCluster ODBC ドライバと、`ncluster_loader.exe` バルクローダークライアントが必要です。これらの ODBC ドライバとバルクローダークライアントを入手するには、Aster Data Technical Support にご連絡ください。

ODBCドライバとバルクローダークライアントのインストール場所、およびそれらを動作させるためのSASソフトウェアの設定方法などに関する詳細は、『Microsoft® Windows® 版 SAS® 9.3 Foundation設定ガイド』を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to DB2

SAS/ACCESS Interface to DB2のインストールには、Base SASが必要です。

含まれる SAS プロダクト

- SAS/ACCESS Interface to DB2
- SAS Accelerator Publishing Agent

必須 DBMS 製品

DB2 Universal Database Version 8.1 FixPak 18以降（32-bitライブラリ）が必須です。

SAS/ACCESS Interface to DB2は、DB2 Server、DB2 Run-Time Client、DB2 Application Development Client、または、DB2 Administration ClientのクライアントモジュールがインストールされたDB2 Client Nodeにインストールすることができます。また、AS/400、VSE、VM、MVS、z/OSのシステム上にあるDB2データベースに接続するには、IBM DB2 Connectのインストールが必要です。

SAS/ACCESS Interface to Greenplum

SAS/ACCESS Interface to Greenplumのインストールには、Base SASが必要です。

SAS/ACCESS Interface to Greenplumは、DataDirect Driver ManagerおよびDataDirect Driver for Greenplumが必要です。これらのコンポーネントをSAS/ACCESS Interface to Greenplumを使用する前にインストールする必要があります。コンポーネントの入手方法については、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

SAS/ACCESS Interface to Hadoop

SAS/ACCESS Interface to Hadoopのインストールには、Base SASが必要です。

必要な Hadoop コンポーネント :

- Hadoop 0.20.2以降（Clouderaは、CDH3u2以降）
- Hive Server 0.7.1以降（修正HIVE-2315を含む）
- Hive JDBC 0.7.1以降（修正HIVE-1815および、HIVE-2315を含む）

推奨する Hadoop コンポーネント : JDBC fix HIVE-2137

Hive Fix に関する注意事項 :

1. Cloudera CDH3u2以降のバージョンには、すでに必要な修正であるHIVE-1815とHIVE-2315が含まれています。
2. HIVE-2315は、サーバー側とクライアント側、両方の修正です。この修正は、HadoopサーバーとSASマシン両方に適用する必要があります。
3. HIVE-1815および、HIVE-2137 は、クライアント側（SAS側）の修正です。これらは、Hadoopサーバーでは必要ありません。

SAS/ACCESS Interface to HP Neoview

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Informix
- Neoview ODBC ドライバ (リリース2.2以降)

SAS/ACCESS Interface to HP Neoviewは、HPのドライバが必須です。ドライバを入手するには、<http://software.hp.com> を開き、「Our top featured products」という項目の下にある「HP Neoview Platform」をクリックしてください。

SAS/ACCESS Interface to MySQL

SAS/ACCESS Interface to MySQLのインストールには、Base SASが必須です。

必須 DBMS 製品 :

- MySQL Client 5.1、または5.5のすべてのバージョン
- MySQL Server 5.0以降

SAS/ACCESS Interface to MySQLの詳細は、『SAS/ACCESS Software for Relational Database: Reference』のMySQLに関する記述を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to Netezza

SAS/ACCESS Interface to Netezzaのインストールには、Base SASが必須です。

含まれる SAS プロダクト (SAS/ACCESS Interface to Netezza)

- SAS/ACCESS Interface to Netezza
- SAS Accelerator Publishing Agent

SAS/ACCESS Interface to NetezzaはNetezza社のODBCドライバが必須です。

Netezza ODBCドライバ (リリース3.1.4 以降) を入手するには、Netezza テクニカルサポートにお問い合わせになるか、Netezza カスタマーサポートWebサイトを参照してください。

米国Netezza社テクニカルサポート : +1 (877) 810-4441

日本ネテューザ社 (代表) : 03-5456-4551

米国Netezza社サポートサイト : <https://support.netezza.com/>

日本ネテューザ社サポートサイト : <http://www.netezza.jp/support/index.aspx>

SAS/ACCESS Interface to ODBC

SAS/ACCESS Interface to ODBCのインストールには、Base SASが必須です。

必須 DBMS 製品 :

- アクセスするデータソースの32-bit版ODBCドライバ
- Microsoft Data Access Components (MDAC), Version 2.7以降

SAS/ACCESS Interface to ODBCを利用するには、アクセスするデータソースの32-bit版ODBCドライバが必要です。このドライバは、DBMSベンダーやODBCドライバを開発しているサードパーティから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、ドライバによってはさらにDBMSソフトウェアが必要になることがあります。DBMSベンダーが提供するネットワークソフトウェアをご利用の場合は32-bit版であることをご確認ください。

注意： Microsoft Data Access Components (MDAC) は、SAS/ACCESS Interface to ODBCをインストールすると自動的にインストールされます。

詳細は、『Microsoft Windows版SAS 9.3 Foundation 設定ガイド』を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to OLE DB

SAS/ACCESS Interface to OLE DBのインストールには、Base SASが必須です。

必須 DBMS 製品

- アクセスするデータソースのODBCドライバ

SAS/ACCESS Interface to OLE DBを利用するには、アクセスするデータソースのOLE DBプロバイダが必要です。OLE DBプロバイダは、DBMSベンダーやサードパーティから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、OLE DBプロバイダによってはさらにDBMSソフトウェアが必要になることがあります。DBMSベンダーが提供するネットワークソフトウェアをご利用の場合は32-bit版であることをご確認ください。

注意： Microsoft Data Access Components (MDAC) は、SAS/ACCESS Interface to OLE DBインストールすると自動的にインストールされます。

SAS/ACCESS Interface to Oracle

SAS/ACCESS Interface to Oracleのインストールには、Base SASが必須です。

必須 DBMS 製品：

ユーザーは、OracleクライアントをSAS/ACCESS Interface to Oracleと同じマシンにインストールする、あるいは、OracleサーバーをOracleクライアントの代わりに使用することができます。

最低限必要なOracleクライアントライブラリのリリースは、リリース10gです。

注意： SAS/ACCESS Interface to Oracleのバルクロード機能を利用するには、Oracle SQL*Loader data-loadingユーティリティをインストールする必要があります。Oracleインストーラを実行してOracle Utilitiesプロダクトを選択すると、このユーティリティがインストールされます。SQL*Loaderに関する詳細は、Oracleのドキュメントを参照してください。

SAS/ACCESS Interface to PC Files

SAS/ACCESS Interface to PC Filesは、次のものを含むWindows上のさまざまなフォーマットのファイルへのアクセスをサポートします：Microsoft Accessデータベースファイル (.mdbまたは .accdb)、Microsoft Excelワークブックファイル (.xls、.xlsb、.xlsmもしくは、.xlsx) もしくは、その他のODBCをサポートしているデータソース。

SAS/ACCESS Interface to PC Filesのインストールには、Base SASが必須です。

必須 DBMS 製品 :

- Microsoft Access Database Engine 2010 Redistributable (ACE)

なにもACEドライバがインストールされていない場合、SAS 9.3は、SAS/ACCESS Interface to PC Filesをインストールする際に自動的に32-bit Microsoft Access Database Engine 2010 Redistributable (ACEドライバ)をインストールします。それ以外の場合は、既存のACEインストールがそのまま使用されます。

SASのビット数(32-bitまたは、64-bit)がACEドライバのものと合致している場合、SAS/ACCESS Interface to PC Filesは、Windowsファイルに直接アクセスできます。ビット数が合致していない場合は、SAS PC Files Serverは、ビット数のギャップを解決しなければなりません。典型的な方法では、64-bit版のSASと32-bit版のACEドライバの組み合わせの場合、32-bit版のSAS PC Files Serverが必要になります。

SAS/ACCESS Interface to Sybase

SAS/ACCESS Interface to Sybaseのインストールには、Base SASが必須です。

必須 DBMS 製品

- Sybase Open Client SDK (Software Developers Kit) Software Release 12.5.2以降

注意: このプロダクトでは、Sybase IQはサポートしていません。専用のプロダクト、SAS/ACCESS Interface to Sybase IQを使用してください。

SAS/ACCESS Interface to Sybaseの詳細については、『SAS/ACCESS Software for Relational Databases: Reference』を参照してください。

注意: Microsoft SQL Serverデータにアクセスするには、SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Serverが必要です。

SAS/ACCESS Interface to Sybase IQ

SAS/ACCESS Interface to Sybase IQのインストールには、Base SASが必要です。

SAS/ACCESS Interface to Sybase IQは、SybaseのODBCドライバが必須です。Sybase IQ ODBCドライバは、Sybase IQ Network Clientに含まれています。Sybase IQ Network Client リリース 15.1 ESD#3 以上を入手するには、御社のデータベース管理者または、Sybase社のテクニカルサポートにお問い合わせください。

米国Sybase社テクニカルサポート : +1 1-800-8-SYBASE (+1 1-800-879.3273)

日本サイベース社 (代表) : 03-5544-6000

SAS/ACCESS Interface to Teradata

SAS/ACCESS Interface to Teradataのインストールには、Base SASが必要です。

必須 DBMS 製品

- Teradata Database 12以上 (Temporal機能が必要な場合は、Teradata Database 13.10以上)

- Teradata CLV2クライアントライブラリ、TTU 12 for Windows以降（Temporal機能が必要な場合、TTU 13.10以降）

次のプロダクトを推奨します。

- Teradata FastExportユーティリティ、TTU12 for Windows 以降
- Teradata MultiLoadユーティリティ、TTU12for Windows 以降
- Teradata Parallel Transporter API、TTU12 for Windows 以降

SAS/ACCESS Interface to Teradataの詳細は、『SAS/ACCESS Software for Relational Databases: Reference』の「Teradata」に関する項目を参照してください。

SAS/AF

必須 SAS プロダクト（アプリケーション作成時）

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/GRAPH（グラフィックオブジェクトを使用する場合）

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

必須 SAS プロダクト（アプリケーション実行時）

- Base SAS
- SAS/GRAPH（グラフィックオブジェクトを表示する場合）

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

プリンタ

- グラフィックスペースオブジェクトを印刷するには、カラーまたはグレイスケールのプリンタが必要です。
- オブジェクトによりませんが、グラフィックスペースでないオブジェクトを印刷する場合、SAS/GRAPHが必要になることがあります。

SAS/CONNECT

SAS/CONNECTのインストールには、Base SASが必要です。

SAS/SHAREは、TCP/IPアクセス方式を使用し、Windows付属のMicrosoft TCP/IP System Driverをサポートします。

注意： APPCアクセス方式は、すでにWindowsではサポートしていません。

SAS/EIS

必須 SAS プロダクト（アプリケーション作製時）

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/EIS
- SAS/FSP
- SAS/GRAPH

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

必須 SAS プロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/GRAPH
- SAS/EIS

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

メモリ

- 128MB

プリンタ

グラフィックスペースオブジェクトを印刷するには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。

SAS/Genetics 12.1

SAS/Geneticsのインストールには、Base SASおよびSAS/GRAPHが必須です。

SAS/GIS

必須 SAS プロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/GIS
- SAS/GRAPH

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

必須 SAS プロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/FSP
- SAS/GIS
- SAS/GRAPH

アプリケーションに応じてその他のSASプロダクトが必要になる場合があります。

プリンタ

カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。利用可能なプリンタは、29ページの「グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性」を参照してください。

SAS/GRAPH

WebブラウザからSAS/GRAPH ActiveX Graphコントロールを実行するには、Internet Explorer 6 SP2が必要です。

SAS/GRAPH Javaアプレットを実行するには、Internet Explorer 6 SP2か、Firefox 2.0以降が必要です。

SAS 9のSAS/GRAPH ActiveX Graphコントロールは、<sashome install directory>\Shared Files\Graph\V9ディレクトリにインストールされます。

SVG出力を参照するには、Firefox 1.5+などのMozilla 1.8+ベースのブラウザのようなSVGコンテンツを表示できるブラウザか、Adobe社のSVGプラグインのようなプラグインか、もしくは、Batic社のSVGビューワのようなアプリケーションが必要です。

PDF出力を参照するには、Adobe Readerが必要です。

SAS/IntrNet

SAS/IntrNetは、複数のコンポーネントで構成されており、個別にインストールすることができません。SAS/IntrNet Serverは、既存のSAS System上にインストールされます。SAS/IntrNet ServerはSAS 9.3のメディアに同梱されています。

CGI ツールとアプリケーション

Application Dispatcher

必須SASプロダクトは、Base SASとSAS/IntrNetです。Application DispatcherのApplication BrokerコンポーネントをWebサーバーにインストールする必要があります。

htmSQL

必須SASプロダクトは、Base SASとSAS/SHAREで、SAS/IntrNetのライセンスも必要です。htmSQLコンポーネントをWebサーバーにインストールする必要があります。

MDDDBレポートビューアアプリケーション

必須SASプロダクトは、Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/IntrNet、SAS/EISまたはSAS OLAP Serverです。Application Dispatcherコンポーネントをインストールする必要があります。

Xplore Sample Webアプリケーション

必須SASプロダクトは、Base SASとSAS/IntrNetです。Application Dispatcherコンポーネントをインストールする必要があります。

Design-Time Controls

必須SASプロダクトは、Base SASとSAS/IntrNetです。Application DispatcherのApplication BrokerコンポーネントをWebサーバーにインストールする必要があります。

Java Tools とアプリケーション

SAS/CONNECT Driver for Java

必須SASプロダクトは、Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/IntrNetです。データサービスを使用する場合は、SAS/SHAREもインストールする必要があります。Java Toolsパッケージは、Webサーバーまたはクライアントにインストールする必要があります。

トンネル機能

UNIXまたはWindowsのWebサーバーにインストールする必要があります。

SAS/LAB

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/FSP (対話形式でデータを入力する場合)
- SAS/GRAPH

SAS/OR 12.1

SAS/ORでグラフを使用するには、SAS/GRAPHのライセンスが必要です。OPTLP、OPTMILP、OPTQP、およびOPTMODELプロシジャを分散コンピューティングモードで起動するには、SAS High-Performance Analyticsのライセンスが必須です。

SAS/TOOLKIT

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- コンパイラ

SAS/TOOLKITは、C言語のみ正規にサポートしています。その他の言語はベータ版となります。

SAS/Warehouse Administrator

必須 SAS プロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF (API使用時にのみ必要)

必須 SAS プロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- アプリケーションによっては他のプロダクトが必要です (たとえば、DBMSテーブルを使用する場合はSAS/ACCESS、リモートデータを使用する場合はSAS/CONNECT、メソッドコールでデータウェアハウスを利用する場合はSAS/AFが必要)

プリンタ

- グラフィックオブジェクトを印刷する場合、カラーまたはグレイスケールのプリンタが必要です。
- グラフィックでないオブジェクトを印刷する場合、オブジェクトによってはSAS/GRAPHが必要になることがあります。

グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性

プリンタ

SAS/GRAPHは、HP-GL、HP-GL/2、PCLのポストスクリプト、および次のメーカーのプリンタで使用されているその他のプリンタ言語をサポートしています。

Brother、Canon、Hewlett-Packard、IBM、Konica Minolta、Lanier、Lexmark、Okidata、QMS、Ricoh、Sharp、Xante、Xerox

SAS.GRAPHは、WINPRINTM（モノクロ印刷プリンタ用）、WINPRINTG（グレースケールをサポートしているプリンタ用）、WINPRINTC（カラープリンタ用）のいずれかのデバイスドライバをMicrosoft Windowsで使用するすべてのプリンタをサポートします。

以下に、SAS/GRAPH独自のドライバをサポートしているプリンタの一部を記載します。

- CalComp ColorMaster、ColorMaster Plus、PlotMaster
- Canon Bubble Jet、Laser Shot
- デジタルプリンタ（SIXEL、HP PCL、Tektronix、PostScriptのいずれかのエミュレーションモードをサポートするもの）
- Epson FX/LQシリーズ（またはEpsonエミュレーションモードで動作するプリンタ）
- Hewlett-Packard LaserJet、DeskJet、PaintJet、DesignJet（互換機を含む）
- IBM Graphics、Proprinter、ColorJet
- PostScriptプリンタ（カラー、グレースケールPostScriptを含む）
- QMS Colorgrafix（CGMインタープリタ使用）
- QMS 800、1200、1500、2200、2400（QUICまたはTektronixエミュレーションモード使用）
- Talaris 800、802、1200、1500、2400（QUICまたはTektronixエミュレーションモード使用）
- Talaris（EXCL言語使用）
- Tektronix Phaser（全モデル）
- Tektronix 4693（Tektronix 4510ラスタライザ使用）
- Xerox 2700、4045（GRAPHXカートリッジ使用）
- Xerox 3700（イメージボードと最低1MBのメモリ使用）
- Xerox 4030（テクニカルサポートにお問い合わせください）、4213、4235、4700
- Xerox 4700
- Xerox 5775カラーコピー（EFI Fiery使用）

上記のリストにないプリンタやPostScript、HP-GL、HP PCLをサポートしていないプリンタについてもドライバが用意されている場合があります。詳細は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス

SAS/GRAPHには、バイナリ形式、文字形式、もしくはクリアテキスト形式のコンピュータグラフィックスメタファイル（CGM）を作成するドライバが含まれています。これによって、SAS/GRAPHの出力をWord for Windows、WordPerfect for Windows、Harvard Graphics、Lotus FreelanceのようなCGM形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアや、CGM形式のファイル入力をサポートするデバイスで読み込むことができます。

SAS/GRAPHからEPSファイルを作成し、Microsoft WordやWordPerfectのようなワープロソフトで読み込むこともできます。

SAS/GRAPHでは、Windowsメタファイルも作成できます。Windowsメタファイルは、Microsoft Office、Lotus Smart Suite、Perfect Officeなどで読み込むことができます。詳細は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

SAS/GRAPHのHPGLもしくはHPGL2ドライバは、CorelDrawやMicrografx Designerなどの多くのベクターベースの描画プログラムで読み込むことができるファイルを作成できます。

SAS/GRAPHは、PDF用やSVG用のドライバに加えて、BMP、PBM、PPM、GIF、JPEG、EMF、WMF、PNG、TIFF、EPSI、PaintBrushのイメージフォーマットも用意しています。

また、SAS/GRAPHでは次の形式のグラフィックデータを読み込むことができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap
- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated PostScript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PCD - Kodak Photo-CD
- PCX - PC PaintBrush
- PNG - Portable Network Graphics
- TGA - TARGA Format
- TIF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- XBM - X Window Bitmaps
- XWD - X Window Dump

ActiveX と Java デバイスドライバによって作成された HTML ファイルの閲覧

SAS 9.3 Foundationでは、ActiveXとJavaデバイスドライバを利用してHTMLファイルを作成することができます。

HTMLを表示できるWebブラウザの詳細は、26ページの「SAS/GRAPH」を参照してください。

Javaアプレットを表示するには、Javaプラグインをそれぞれのクライアントにインストールする必要があります。Windows環境では、プラグインがインストールされていない場合、インストールされていないことが通知され、それにしたがってインストールすることができます。



THE
POWER
TO KNOW.

SAS is the leader in business analytics software and services, and the largest independent vendor in the business intelligence market. Through innovative solutions delivered within an integrated framework, SAS helps customers at more than 50,000 sites improve performance and deliver value by making better decisions faster. Since 1976, SAS has been giving customers around the world THE POWER TO KNOW®.

英語版更新日 August 5 2015

SAS 9.3 (TS1M2), Rev. 930_13w40

Pub Code: 62187

Microsoft Windows 版
SAS® 9.3 Foundation システム必要条件

2015年10月2日 第1版第16刷発行 (93O8)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03(6434)3680 FAX: 03(6434)3681